

日本航空に於ける新入社員教育

日本航空(株) 中瀬 達雄

- I, 当社の情報システムと業務体制
- II, 情報システム要員の概要
- III, 新人の育成体系
- IV, 新入社員教育(昭和63年度)
- V, 今後の課題

I. 当社の情報システムと業務体制

1. 情報システム

- (1) 「JALCOM」・・・IBM3090-180EX2(5)
 - ①旅客営業(予約, 運賃, 発券, ツアー, ホテル等)
 - ②旅客運送(搭乗手続, 搭載管理, 空港情報等)
 - ③貨物(予約, 輸入運送, 輸出運送, ULD等)
- (2) 仮称「戦略支援」・・・IBM3090-200EX3
 - ①戦略支援(顧客情報, 代理店支援, 利益管理等)
 - ②JALFOS(飛行計画, 乗務員管理, 運航統制等)
- (3) 「JALTOPS」・・・日立M280HX3,
 - ①JALMACS(航空機整備管理, 部品補給等)
 - ②JALGEMS(人事勤労, 財務, 収入管理等)

2. 業務体制

(1) 組織

情報システム本部長

- 企画部長 (業務, 予算・関連事業, 企画, 通信, 調査・技術, 教育, 田町総務, 羽田情報シ, 成田情報シ)
- システム開発部長 (業務, システム・サポート, データ・ベース, 旅客, 貨物, 一般管理, 運航客室, 整備, 経営科学, ネット・ワーク, 通信システム, OAセンタープロジェクト・チーム)
- システム運用部長 (業務, システム・サポート, スケジュール運用, 第1運用-第6運用)

(2) 業務委託

- ① 開発業務
基本設計までを社内で担当し, 詳細設計・プログラミングは外部(常駐, 非常駐)に委託している。
- ② 運用業務
各シフトの責任者(課長)およびインチャージ計5名を除き, 外部に委託している。
- ③ 関連会社
 - ・ソフト開発; 日航情報開発(株)〔昭和59年設立, 従業員約250名〕
 - ・運用・通信整備; テスコム(株)〔昭和53年設立, 従業員約450名〕

II. 情報システム要員の概要

1. 人員構成

(1) 組織・男女別

	管理職	男子	女子	計
企画	21	32	15	68
開発	26	168	16	210
運用	10	54	3	67
計	57	254	34	345

(2) 自社・委託

	自社	委託
開発	210 (36%)	369 (64%)
運用	67 (56%)	53 (44.5%)

2. 新人採用

(1) 年度別採用数

年度	63	62	61	57	51	50	49	45	44
人数	10	9	3	5	0	30	63	57	121

(2) 採用方式

- ① 49年度まで 「情報システム要員」として「事務」「技術」「サービス」と別に採用。大学・高専主体，男子・女子。
- ② 50年度以降 「事務」の中で「情報システム系」として採用。大学男子。いずれの場合も採用区分間で処遇の差はない。

III. 新人の育成体系

1. 情報システム基幹要員としての新人を計画的に育成するため，現在および将来の業務実態をふまえて育成の指針として体系を設定した。

この運用にあたっては開発業務量との関連を考慮して柔軟に適用するとともに体系自体も環境条件の変化に対応できるように常時（毎年度）見直していくこととしている。

2. [入社1年目]

- (1) 担当業務；上級者の指導の下にプログラミング，テスト等の作業を担当
- (2) 育成内容；別項参照
- (3) 教育コース；別項参照

3. [入社2年目]

- (1) 担当業務；前記に加え，設計業務の補助作業を担当
- (2) 育成内容；①オペレーション業務実習（約1ヶ月）
②情報処理技術者試験（第1種）受験
- (3) 教育コース；SE基礎教育

① SE基礎	(1日間)	② データ通信基礎	(2日間)
③ DB基礎	(2日間)	④ 事務分析基礎	(2日間)
⑤ 通信一般基礎	(2日間)	⑥ MS/OR基礎	(2日間)
⑦ EDPS設計	(3日間)	⑧ JALSDM	(2日間)

4. [入社3年目～5年目]

- (1) 担当業務；システム開発における基本設計業務を担当
- (2) 育成内容；この3年間のうち，ユーザ業務を2年間（人事異動ベースにより）経験する。

- (3) 教育コース；S E 初級教育
 ①問題解決訓練 (3日間) ②システム監査基礎 (2日間)
 ③コミュニケーション技法基礎 (2日間)
 ④創造性開発 (2日間) ⑤システム企画訓練 (2日間)
 ⑥プロジェクト管理基礎 (2日間)

5. (入社5年目以降)

- (1) 担当業務；高度かつ専門的なS E業務を担当
 (2) 育成内容 } 業務管理・経営管理知識 (検討中)
 (3) 教育コース

6. 教育システムの運用

- (1) 2月 年度教育概要計画の設定・周知
 (2) 3月 個人別教育計画の立案 (所属長)
 (3) 4月 年度教育コース日程計画の設定
 (4) 毎期 同上修正および必須コース参加者の指名
 (5) 毎月 次月コース参加申込 (所属長)
 (6) 3月 個人別教育受講台帳の整備・配布

IV. 新入社員教育 (昭和63年度)

1. 情報システム本部の基幹要員育成を目的とし、次の2期に分けて実施する。

- (1) 配属前入門教育
 (2) 配属後フォローアップ教育

2. 対象者 大学卒 (院卒を含む) 男子 10名

3. 能力開発部・入社研修

- (1) 期間 4月1日 - 4月9日 (9日間)
 (2) 内容 合宿研修 (4泊5日)、自衛隊体験訓練 (3泊4日)

4. 配属前入門教育

- (1) 期間 4月12日 - 6月30日
 (2) ねらい

- ① 情報システム本部社員としての心構え、あり方
 ② EDP, 通信システムの基礎知識と、社内における活用の実態
 ③ プログラミング言語 (詳細設計の説明を受け完成できる迄)

(3) 科目・日程

- ① 一般教育 計 8.5日間
 [部内組織と業務, 社内業務, 社内EDPシステム, 社内通信システム
 空港業務見学]
 ② EDP, 通信の基礎 計 7.5日間
 [システム入門, 仮想記憶システム, OS/V Sの概念, JCL, DB/
 DC入門, データ通信入門, プログラム作成の基礎]
 ③ システム開発業務 計 4.0日間
 ④ プログラミング言語 計 23.0日間
 [アッセンブラー言語, 同演習, コボル言語]
 ⑤ システム運用 計 4.0日間

- ⑥ プログラム設計 計 2.0日間
- (4) 指導担当者 主として開発部員
- 5. 配属後フォローアップ教育
 - (1) 時期 9月以降
 - (2) ねらい
 - ① 所属及び会社現場業務の理解・体験
 - ② 情報処理技術者試験（第2種）の受験
 - (3) 科目・方式
 - ① 担当業務・プロジェクト概要
〔所属グループの業務および主要プロジェクトの概要をレポートにまとめ発表会にて報告する〕
 - ② 現場研修 計 10日間
〔航空会社の原点である空港接客業務・旅客予約業務について各講義1日実習4日を体験する〕
 - ③ 情報処理技術者試験（第2種）の受験
〔受験のための勉強会・模擬試験を実施する〕
- 6. 前年度との変更点
 - (1) 当社業務・当社システム理解ためのコースを強化
 - (2) プログラム設計コースの追加（従来配属先で実施）
 - (3) 現場研修のフォローアップ教育への移行

V. 今後の課題

- 1. 入門教育カリキュラムの見直し

現行カリキュラムは、プログラミング業務担当者向きの伝統的なコース構成を主体として、漸次若干の改訂を加えてきているものである。今後の当社要員育成を考えた場合、システム設計業務担当者育成のための入門教育としてのカリキュラムを設定する必要がある。

この場合、プログラミング作業経験、あるいは知識・技術の必要度について充分検討する必要がある。
- 2. OJTとの結びつきの強化

要員育成には効果的なOJTが不可欠であるが、単に「仕事を与えている」というだけになり勝ちである。真に効果をあげるためには次のような点を組織化する必要がある。

 - (1) 年度個人別育成・教育計画の設定
 - (2) 教育コース参加時の事前動機付け、事後フォロー
 - (3) 育成的配慮による業務割り当て
 - (4) タイムリーな総合的OJTの評価